技術委員会より

技術委員長　藤平浩之
（東京フェライト製造(株)）

新年あけましておめでとうございます。今年も年明けより恒例となっております行事がありました。事務局の多田専務理事には、運営面で何時もながら頭が下がる思いであります。午前１０時より新春理事会、短時間の昼食を済ませた後、直ぐに評議員会そして講演会、平成２０年度ＪＡＢＭ新春記念講演会「市場変化を捉えた新製品開発をリーダーはどの様に考え行動したか」のプログラムのもと３件ものご講演を無事終了し、午後４時３０分より賀詞交歓会が例年になく多くの出席者がお見えになり、盛大なうちに名残惜しくも終了致しました。新年そうそう大変お疲れさまでした。

さて、平成１９年通常総会後、前任伊田技術委員長より技術委員長を引継ぎ、速いもので恒例行事となっておりました、９月７日開催の第７２回技術例会「軟質磁性材料と関連技術の最新動向」～益々重要性が高まるノイズ対策材料と低鉄損コア材～のプログラムのもと７件のご講演を無事終了することが出来ました。当日は、大型台風の影響で関西方面からお申込みを頂きながらこの様な自然現象で出席出来なかった方々には大変悔しい思いをされた事とご推察申し上げます。このような影響があったにも係わらず、多くの方にご出席していただきました。関心の程が伺われるプログラム内容になりました。ご協力頂きました関係者各位様には厚くお礼申し上げます。収支についての金額提示は差し控えさせていただきますがプラスとご報告させて頂きます。１９年度最大イベント２００７ＢＭ国際シンポジウム＜日英同時通訳＞「ボンド磁石の最新技術動向と資源問題」をタイトルに、今まさに日本の高性能磁石産業即ち希土類磁石を司っている資源問題が主たるテーマでした。レアメタルの価格高騰そして安定供給の危機感などその対応策を考えさせられる１日となり、ご講演内容は非常に意味深いものとなったことでしょう。我国では産官学が一体となり、新規な供給源の探索、リサイクルの推進、使用量削減などが取り上げられ研究が始められてきております。また、今回は特別に希土類資源で世界第２位の埋蔵量を誇るロシアからの講師をお招きして、ロシアにおける希土類資源や磁石産業の状況を初めて明らかにして頂いた事でした。この様な良きテーマでありながら参加人員は意外にも少なく、出費が嵩み収支は、マイナスとなった事をご報告させて頂きます。今回このような良きテーマでありながら参加人員が少なかった事を踏まえて、反省をさせられました。参加者が非常に興味を沸き立たせられるようなテーマ探しが、今後は、最重要課題となってまいりました。次回記載、ＢＭＮｅｗｓ Ｎｏ．４０号 ＢＭインフォメーショ「技術委員会より」は、次期委員長に委ねながら、ＢＭＮｅｗｓ Ｎｏ．３９号とさせて頂きます。会員各位におかれましては、これからも益々ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。最後に、会員各位におかれまして、ボンド磁石及びボンド軟磁性材料関連の未加盟主要メーカーの加入促進にご協力の程宜しくお願い申し上げます。そして、会員相互のより一層の親睦融和を図る意味で、今期実施出来なかった見学会や研修会の開催を次期委員長にお願いしつつ筆を置く事と致します。

追伸）今期最後の技術委員会の活動としまして、

その予定を概略紹介させて頂きます。

○第７３回技術例会 (2008.05.23 開催)
「新しい磁性産業を切り開く先端技術」
ご講演８件で現在原案進行中です。
乞うご期待下さい！！

昨年、ご好評を頂いておりました浜野技術委員が塾長を努められておりました寺子屋ＢＭ塾が平成２０年度前期講座が今年も既に下記日程で開講される事が決定しております。
講座名は、軟質 (ソフト) 磁性材料のＡＢＣです。
基礎的な講座内容と社外での仲間作りの場を提供することを目的に磁性材料に関する技術の伝承を進め、お役に立てればとの浜野塾長の意向が強く感じられる寺子屋ＢＭ塾です。多くの方のご参加をお待ちしております。
第１講５月１６日 (金)／第２講６月２０日 (金)／第３講７月１８(金) の３講座です。
詳細は、塾生募集！！案内が近々ご案内されると思います。
乞うご期待下さい！！

平成19年9月7日　第72回技術例会　於　ホテルラングウッド

平成19年12月7日　2007BM国際シンポジウム　於　ホテルラングウッド